

2027年1月13日(水)～14日(木) ベトナムにて開催

第7回日系企業安全衛生担当者情報交流会

～労働災害の削減と安全衛生活動の活性化に向けて、ともに考えませんか

(日本国 厚生労働省 補助対象事業)

1月13日～14日
(2日間) 開催
参加費無料！
先着60名

中央労働災害防止協会は、ベトナム(ドンナイ市)において、三谷産業(株)の協力のもと、日系企業の日本人工場長及びベトナム人の安全担当者等を対象に、労働災害の削減と安全衛生活動の活性化を目指し、交流会を開催します。日本語とベトナム語の逐次通訳及び両言語の資料を準備しますので、ベトナム人の方だけでなく日本人の方も参加できます。また安全衛生保護具等のミニ展示コーナーも設ける予定です。

カリキュラム(受付8時30分より)

※2日間とも昼食を準備いたします。

1日目(9時00分～17時00分頃)

詳細 →



・特別講義「なるほど！楽しく学ぶ労働災害を防ぐ仕組みづくり」

(講師：中災防安全衛生マネジメントシステム審査センター所長 齊藤 信吾 氏)

- ① 安全第一の始まりと世界中に広まった理由、② 労働災害はなぜ起こる？
③ ヒューマンエラーは無くせない、④ リスクアセスメントで災害を減らそう、
⑤ 労働安全衛生マネジメントシステムと国際規格化、⑥ 日本の労働災害事例と判例、⑦ 安全衛生ルールを守ってもらうために、⑧ 演習：やってみよう
リスクアセスメント

・講義「三谷産業(株)の安全活動の取組み」

(講師：三谷産業(株) 都平 祐浩 氏)

2日目(※午前・午後の何れかの4時間程度)

- ・ホテルより送迎バスにてADMSの現場へ出発
 - ・ADMSの現場の安全衛生活動状況の視察
 - ・ホテルに戻り、参加者による意見交換
- ※午前(8時30分～13時)もしくは午後(12時～16時30分)の希望制
※視察現場への個人による直接の訪問はご遠慮下さい。
※午前の部は見学後にホテルで昼食予定
※午後の部は見学前にホテルで昼食予定
※定員の関係で見学時間は希望に添えない場合があります。

開催会場 ※詳細地図は当協会HPに掲載



※ 講習・討議・演習

Aurora Hotel Plaza(オーロラ ホテル プラザ)

253 Pham Van Thuan, KP2 Tam Hiep, Dong Nai City, Vietnam



※ 現場視察

Aureole unit-Devices Manufacturing Service Inc.(ADMS)

No 6A, 17A Street, Bien Hoa II Industrial Zone, Tran Bien Ward, Dong Nai City, Vietnam.

(三谷産業(株)のベトナム現地グループ会社で、約600人の従業員を擁し樹脂成形品の製造を担っている。)

申込方法

右のQRコードよりアクセスの上、必要事項を記入してお申込み下さい。受付は先着60名までとなります。定員に達した場合は、ホームページ上でその旨をお知らせしますので、必ず申込前にご確認下さい。なお、当日は事務局から送付された参加証を必ず持参の上、9時までに会場へお越し下さい(8時30分受付開始)。



(協力会社)

三谷産業株式会社



(後援機関)

ベトナム内務省

国家労働安全衛生研修センター(NCOSH)



(後援機関)

ラックホン大学



(主催団体)

中央労働災害防止協会

三谷産業(株)

情報システム、樹脂・エレクトロニクス、化学品、空調設備工事、住宅設備機器およびエネルギーなど、6つのセグメントを中心に多角的に事業を展開。1994年にベトナムで事業を始め、2024年に30周年を迎えた。現在、現地グループ会社は7社、ベトナム人社員数は約2,400人を擁し、安全衛生活動にも熱心に取り組んでいる。

<https://www.mitani.co.jp/business/vietnam>

講師紹介

齊藤信吾 (Shingo SAITO)

中央労働災害防止協会
認証事業執行責任者
安全衛生マネジメントシステム審査センター 所長
ISO/TC283日本代表エキスパート



中災防では、作業環境測定、分析方法開発、環境改善支援、化学物質管理、各種教育企画・講師、営業、リスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)等の業務を歴任し、現在はISO45001等の認証事業執行責任者に就いている。また、産業医科大学、北里大学で非常勤講師を務めています。

2003年から3年間JICA(国際協力機構)の長期専門家としてマレーシアに赴任し、National Institute of Occupational Safety and Health(NIOSH、マレーシア国立労働安全衛生研究所)に労働衛生工学分野の技術移転を行いました。また、ISO45001、ISO45002、ISO17021-10規格作成のためのISO国際委員会に日本代表エキスパートとして参加しているほか、これらのISO規格を和訳しJIS(日本産業規格)作成も行っています。

講義では、安全第一は第三まであった！ヒューマンエラーが無くならない理由はこれだ！！リスクアセスメントは鎌倉時代からあった！！など、小話を盛り込みながら、労働災害を防ぐための仕組みづくりを分かりやすく解説します。

労働衛生コンサルタント(労働衛生工学)、臨床検査技師、衛生工学衛生管理者、第1種作業環境測定士。(一財)日本規格協会「標準化奨励賞(2018年)」、産業医科大学「最優秀講師賞(2021年)」、北里大学「北里国際貢献賞(2022年)」受賞。



(Aureole Expert Integrators Inc. 木下取締役社長)

講師紹介

NGUYEN KY QUANG (ニュアン・キ・クアン)

Aureole unit-Devices Manufacturing Service Inc.

木下浩之 (Hiroyuki KINOSHITA)

Aureole Expert Integrators Inc.

Le Tuan Nghiem (レー・トウアン・ギィム)

Aureole Expert Integrators Inc.

都平祐浩 (Masahiro TOHIRA)

三谷産業株式会社CSR 本部安心安全推進部

(※敬称略)

三谷産業グループは、「安全は全てに優先する」との安全衛生方針のもと、ベトナム(Aureoleグループ)の7社17拠点を含めグループ全体で安全衛生活動に積極的に取り組んでいます。

2011年より、三谷産業株式会社はベトナムにあるAureoleグループ各工場に対し日本基準の安全管理の指導を始めました。その後、中災防のアジア安全衛生SAKURAプロジェクトへの参加、オンラインでの安全担当者向け教育、中災防の資料に基づいた教育ビデオ制作、厚生労働省の外国人技能実習生向け教育の活用など、教育の幅を広げていった結果、「労働安全に対する意識」、「全ての人がかげがえのない存在」、「繰り返し実施することの重要性」など、ベトナム人従業員の意識が変わり、毎日の「当たり前」を守るために、無災害と向き合う活動を行っています。

本交流会では、現地社員を中心とした自律した安全活動に取り組むについてお話をいただくとともに、実際に製造現場を訪れ安全衛生への取組の様子をご覧ください。